

「路上駐車」に関する意識調査 ～2年以内の路上駐車経験者が初めて3割を下回る～

パーク24株式会社（本社：東京都品川区、社長：西川光一）は、8月9日「駐車場（パーク）の日」を前に、路上駐車防止の啓発活動の一環として、ドライバー向け会員制サービス「タイムズクラブ」※1の会員を対象に、「路上駐車」に関する意識調査を実施いたしました。

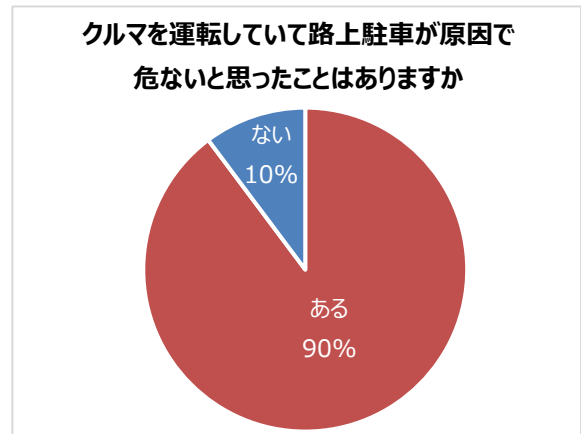
パーク24グループでは、「1年のうち、たった1日でもいいから路上駐車が引起こす様々な社会問題について考えてほしい」という願いを込め、1998年に8月9日を「駐車場（パーク）の日」として記念日登録しました。

駐車違反の取締り件数は年々減少傾向にあるものの、2019年は110万件を超えています。駐車車両が原因となる交通事故は1,899件で、47名の尊い命が失われました※2。また、路上駐車は、交通事故を引起こすだけでなく、交通渋滞の要因となるほか、緊急車両の通行妨害にもなっています。

- ※1 入会金・年会費無料の会員制ポイントプログラム。タイムズパーキングやタイムズカー、タイムズカーレンタルの利用等でポイントがたまる他、会員限定サービス等を提供。会員数約885万人（2021年6月末現在）
- ※2 出典：警察庁交通局 駐車対策の現状（令和2年12月）
 駐車車両が原因の交通事故は駐車車両への衝突事故と駐車車両に起因した事故を合計

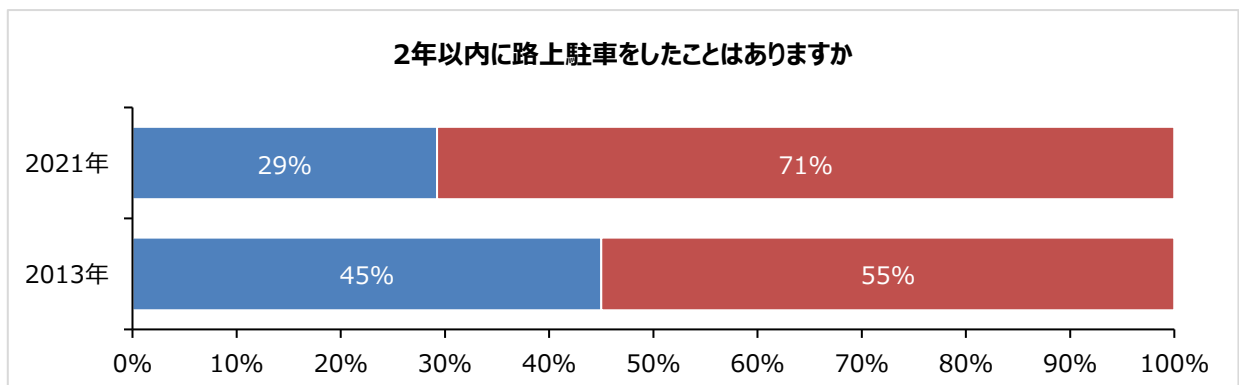
【路上駐車が原因で危険を感じた経験】

今回の意識調査では、90%が「路上駐車が原因で危ないと思ったことがある」と回答しています。アンケートを開始した2013年以降、毎回約9割となっており、傾向に変化はありません。



【2年以内の路上駐車経験】

2年以内に路上駐車をした経験があるのは29%で、路上駐車に関する意識調査を開始した2013年と比較すると16ポイント減少しました。また、調査開始以来、初めて3割を下回りました。



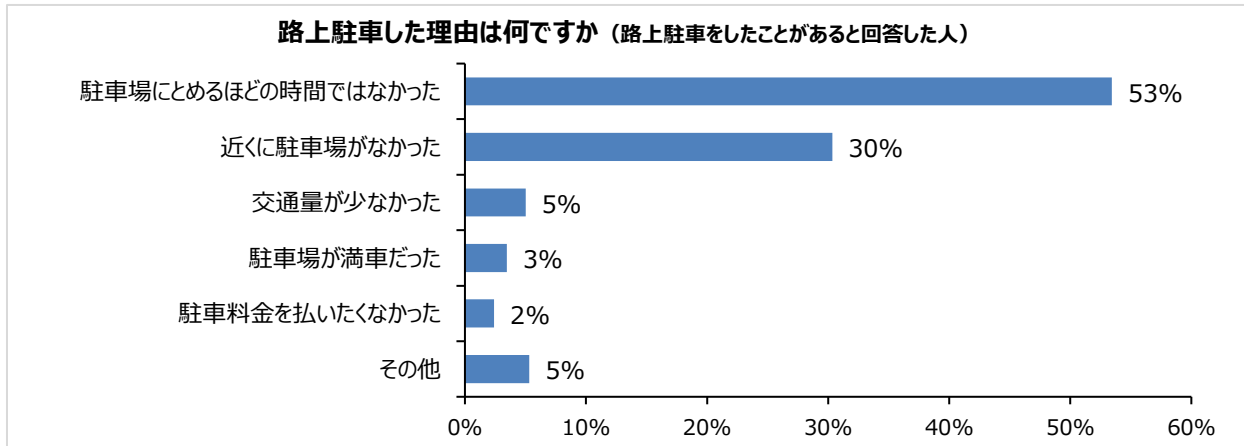


【路上駐車理由】

路上駐車した理由については、「駐車場にとめるほどの時間ではなかったから」が53%で最多でした。

「近くに駐車場がなかったから」30%、「駐車場が満車だった」3%となっており、約3人に1人は駐車場にとめたくてもとめられないことを理由に路上駐車をしていることがわかりました。

回答の傾向は過去に実施した結果と比較しても大きな変化はありませんでした。



(参考:過去の調査結果)

	2013 ^{※1}	2014	2015	2016	2017	2018	2019 ^{※1}
駐車場にとめるほどの時間ではなかった	61%	52%	55%	56%	59%	56%	64%
近くに駐車場がなかった	53%	36%	32%	32%	33%	32%	45%
交通量が少なかった ^{※2}	—	—	—	—	—	—	16%
駐車場が満車だった	15%	5%	5%	5%	3%	5%	11%
駐車料金を払いたくない	8%	2%	2%	3%	1%	3%	6%
その他	6%	4%	5%	4%	4%	5%	7%

※1:2013年と2019年は複数選択での実施。 ※2:「交通量が少なかった」は2019年より選択肢に追加

本アンケートから、路上駐車経験者比率は減少しているものの、路上駐車をする人の多くは、「駐車場にとめるほどの時間ではない」と考えていることがわかりました。短時間であっても交通事故が起きる可能性があり、緊急車両の妨げになることもあります。

また、約3人に1人は「近くに駐車場がなかった」または「駐車場が満車だった」と回答しており、とめたくてもとめられなかったため、路上駐車をしてしまった人も一定数いることがわかりました。とめたい時にとめられる環境整備のため、当社は時間貸駐車場「タイムズパーキング」および予約制駐車場「B」の開設を進めてまいります。

パーク24グループは、時間貸駐車場のパイオニア企業として、路上駐車ゼロを目指し、必要な場所で必要な時にクルマをとめられる環境にしていくと同時に、今後も継続した啓発活動を実施してまいります。

■調査概要

調査対象：タイムズクラブ会員

(2020年2月15日以降に入室し、直近でパーク24グループのサービス※を利用された方)

※対象サービス：時間貸駐車場・予約制駐車場・カーシェア・レンタカー

調査方法：非公開型インターネットアンケート

調査期間：2021年2月15日～2021年2月21日

有効回答者数：6,816名

※調査結果は、四捨五入による端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。